

教職実践演習（高）	単位数	履修方法	配当年次
	2	SR	4年
科目コード	EC5913	担当教員	寺下 明

※平成29年3月までの教育実習事前指導スクーリングを受講し、29年7月までに「教育実習」を終え、29年8月の「教職実践演習（高）」を受講する必要があります（『試験・スクーリング 情報ブック2015』p. 35参照）。

※この科目は本年7月までの実習受講者がすべて「総合演習」受講者であることから、平成27年度はスクーリング開講予定がありません。平成28年度または平成29年度の受講計画立案をお願いいたします。

■科目の内容

教員として求められる4つの事項、すなわち、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、児童生徒理解や学級経営等に関する事項、教科等の指導力に関する事項について、講義やグループ討論、ロールプレイ、模擬授業等を通じて、学生の理解度を把握し、指導をおこないます。

■履修登録条件

この科目は4年次以上で「教育実習」と同一年度かそれより後で履修登録してください。平成24年度までに「総合演習」を単位修得した方は履修の必要は原則としてありませんが、それ以外の5条別表1による福祉科免許状取得希望者は「教育実習」終了後にスクーリングを受け、単位修得が必要です。

■到達目標

教科に関する科目および教職に関する科目の履修状況をふまえ、教職科目の最終段階の科目として、教員として必要な知識技能を習得したことを確認します。

■教科書

西岡加名恵・石井英真・川地亜弥子・北原琢也著『教職実践演習ワークブック ポートフォリオで教師力アップ』ミネルヴァ書房、2013年

■レポート課題

1 単位め	(スクーリング事前レポート＝教育実習終了後スクーリングの1週間前までに提出) 教育実習や履修を通じて自身に不足していると考え、および、その対応策をまとめてください。
2 単位め	(スクーリング後レポート) 教員として求められる4つの事項を今後さらに向上させるために必要と思われることを、スクーリングで学んだことを含めて具体的にまとめてください。

■アドバイス

「履修カルテ」でこれまで記載してきたこと、教育にかかわるボランティア活動、教育実習内容やその反省をふまえて、レポートをまとめ、スクーリングに参加してください。

■スクーリング講義内容

テーマ	内容
1) 教職について	履修カルテをもとにこれまでの学習を振り返る
2) 教育論	教育論について討論
3) 教師論①	現代社会の教育諸問題と教職の課題について討論
4) 教師論②	求められる教員の資質について討論
5) 教師論③	教員の仕事と役割について講義と討論
6) 教育実習の報告	教育実習についての報告と討論
7) 特別支援教育	特別支援教育についての講義と討論
8) 学習指導要領①	学習指導要領についての講義と討論①
9) 学習指導要領②	学習指導要領についての講義と討論②
10) 模擬授業①	模擬授業と討論①
11) 模擬授業②	模擬授業と討論②
12) ロールプレイング	ロールプレイングと討論
13) まとめ	教員としての資質能力の確認、総括・補完指導

■講義の進め方

演習形式で進めるが、講義や模擬授業なども行います。

■スクーリング評価の基準

授業への取り組み（プレゼンテーションや模擬授業、討議やディスカッションなど）100%により、教員としての資質能力を総合的に判断します。

■スクーリング時の教科書

教科書『教職実践演習ワークブック ポートフォリオで教師力アップ』を持参してください。

■スクーリング事前学習

教科書に目を通しておいてください。

■スクーリング受講条件

スクーリングは平成28・29年の8月中旬の連続3日間で行われる予定です（1年に1回限り）。受講する方は、下記の条件を満たすことが必要です。

(1) 入学後毎年下記期限までに「履修カルテ」を提出していること。

	発送予定日	提出締切	左記発送予定日から5日たっても「履修カルテ」が届かない場合は至急お知らせください。
4月生	3月10日	4月25日	
10月生	9月10日	10月25日	

- (2) 受講する年度の7月中旬までには「教育実習」を終了していること。
- (3) 1単位めレポートを教育実習終了以降、スクーリング受講の1週間前までに提出していること。

■科目の評価基準

スクーリング、レポート等の結果にもとづいて、教員として必要な資質能力が身に付いているかを総合的に評価します。